作成日： 2014年11月01日
改訂日： 2024年05月01日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	レンジスターストロング
供給者の会社名称、住所及び電話番号	セッツ株式会社 大阪府堺市西区築港新町1-5-10 072-280-0920
想定される用途及び当該用途における使用上の注意	食品工場・厨房等のレンジ・換気扇・機器・タイル・コンクリート床の洗浄

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2(呼吸器)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	区分 2

注記：記載のない場合は「区分に該当しない」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかである

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 呼吸器の障害のおそれ 水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗い、口をすすぐこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

化学名または一般名	濃度又は濃度範囲(%)	CAS番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
水	ﾊﾞﾗﾝｽ	7732-18-5	—	—
界面活性剤	非公開	非公開	非公開	非公開
水酸化ナトリウム	1～5	1310-73-2	1-410	—
水酸化カリウム	1～5	1310-58-3	1-369	—
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	1～5	112-34-5	2-422	—

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂、霧状水を使用すること。
使ってはならない消火剤	データなし
火災時の特有の危険有害性	火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
特有の消火方法	安全に対処できるならば着火源を除去すること。 危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。 消火作業は風上から行う。 消火水の下水への流入を防ぐ。
消火を行なう者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、適切な保護具(手袋、マスク等)を着用する。 燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、硫黄酸化物・窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、呼吸保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。 作業の際には適切な保護具(保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
環境に対する注意事項	漏れ出した物質の河川、下水、排水溝、低地への流出を防止し、環境への影響を起こさないよう注意する

封じ込め及び浄化の方法及び機材	不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、スコップ、ウエス等で容器に回収する。 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。 回収物はラベルを貼って密閉できる空容器に保管し、安全な場所に移す。
二次災害の防止策	漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。 排気/換気設備を設ける。
安全取扱注意事項	容器はその都度密栓する。 皮膚に触れないようにする。 眼に入らないようにする。 保護具を着用すること。
接触回避	アルカリ性なので酸性の製品との接触を避ける。
衛生対策	取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件	施錠して保管すること。 アルカリ性で有るので、酸性物質と同じ場所に貯蔵または保管しない。 日光の直射を避ける。通風のよいところに保管する
安全な容器包装材料	製品容器、ステンレス、ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	許容濃度 ・ 水酸化ナトリウム 日本産衛学会(2009) : 2 mg/m^3(最大許容濃度) ACGIH(2009) : STEL(C) 2 mg/ m^3 ・ 水酸化カリウム 日本産衛学会(2017年度版) : 最大許容濃度: 2 mg/m^3 ACGIH(2017年版) : TLV-Ceiling limit: 2 mg/m^3 ・ ジエチレングリコールモノブチルエーテル ACGIH : TWA 10 ppm
設備対策	屋内作業の場合は、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるようにする。 タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気できる装置を取り付ける。
保護具	
呼吸用保護具	状況に応じ適切な保護マスクを着用する。
手の保護具	不浸透性の保護手袋を着用する。 化学防護手袋の材質は下記を推奨する。 (皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル及び化学防護手袋メーカー情報より) より好ましい材質: ニトリルゴム、天然ゴム(ラテックス)、ブチルゴム、ネオプレンゴム、ポリビニルアルコール(PVA)、バイトン/ブチル、ネ

	オプレン/天然ゴム、ニトリル/ネオプレンゴム、ポリ塩化ビニル/ニトリルゴム、多層フィルム（LLDPE）、多層フィルム（EVOH）
	必要に応じ、取扱物質、作業内容等を保護具メーカーへ連絡し、化学防護手袋の選定の助言を受ける。
眼、顔面の保護具	保護眼鏡/顔面保護具(ゴーグル型)を着用する。
皮膚及び身体の保護具	状況に応じ保護衣を着用する。(浸透しない材質であることが望ましい。)
特別な注意事項	保護具は定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	黄色透明
臭い	原料臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	なし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	13以上(原液・25℃)
動粘性率	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	標準的条件では危険な反応はしない。
避けるべき条件	酸と反応し、中和熱を発生する。
混触危険物質	アルミニウム、スズ、亜鉛、クロム等の金属と反応し、可燃性の水素を発生し、爆発することがあるので注意する。
危険有害な分解生成物	硫黄酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	(水酸化ナトリウム) 分類できない ウサギ LD50 325 mg/kg げっ歯類のデータがないため分類できないとした。
急性毒性(経皮)	データなし
急性毒性(気体)	データなし
急性毒性(蒸気)	データなし
急性毒性(粉じん／ミスト)	データなし
皮膚腐食性／刺激性	(水酸化ナトリウム) 区分1 ブタの腹部に2N(8%)、4N(16%)、6N(24%)溶液を適用した試験

	で、大きな水疱が15分以内に現れ、8%および16%溶液は全表皮層に重度の壊死を生じ、24%溶液においては皮下組織の深部に至る壊死を伴う無数かつ重度の水疱が生じたとの報告〔SIDS (2009))、およびウサギ皮膚に5%水溶液を4時間適用した場合に重度の壊死を起こしたとの報告(ACGIH (7th, 2001))に基づき区分1とした。なお、pH は12 (0.05% w/w)〔Merck (14th, 2006)〕である。また、ヒトへの影響では、皮膚に対して0.5%－4%溶液で皮膚刺激があり、0.5%溶液を用いた試験でボランティアの55および61%に皮膚刺激あったとの報告(SIDS (2009))がある。EU分類ではC、R35に分類されている
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	(水酸化ナトリウム) 区分1 ウサギ眼に対し1.2%溶液ないし2%以上の濃度が腐食性濃度との記述〔SIDS (2009)〕、pH は12 (0.05% w/w)〔Merck (14th, 2006)〕であることから区分1とした。ヒトの事故例で高濃度の粉じんまたは溶液により重度の眼の障害の報告〔ACGIH (7th, 2001)〕や誤って眼に入り失明に至るような報告〔DFGOTvol.12 (1999)〕が多数ある。なお、皮膚に対しても腐食性を示し、EU分類ではC、R35に分類されている。
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	(水酸化ナトリウム) 区分1(呼吸器) 粉じんやミストの急性吸入ばく露により粘膜刺激に続き、咳・呼吸困難などが引き起こされ、さらにばく露が強いと肺水腫やショックに陥る可能性がある(PATTY (5th, 2001))という記述により区分1(呼吸器)とした。なお、潮解性や極小の蒸気圧などの物理化学的特性から粉じん形成はあり得ない〔SIDS (2009)〕との記述もある。そのほか、誤飲28症例で、推定25-37 %溶液50～200 mLにより上部消化管と食道の傷害が認められたとの報告(SIDS (2009))や、深刻な(誤飲)事故や自殺症例報告は多数あり口腔から食道までの重度の腐食を引き起こしたする記述(DFGOTvol.12 (1999))もある。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	(界面活性剤) 区分1 藻類(セレナストラム) ErC50=0.14 mg/L/72hr
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサ	環境への放出を避けること。 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

イクルに関する情報	廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律や関係する法規に従って処理を行うか、委託する。 容器、機器、装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さない。 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制	航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連番号	3266
品名(国連輸送名)	その他の腐食性液体、アルカリ性、無機物、他に品名が明示されていないもの
国連分類	8
容器等級	Ⅱ
MARPOL73/78 付随書Ⅱ及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当(Y類)
国内規制	陸上輸送は消防法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送は船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送は航空法に定められている運送方法に従う。
陸上規制情報	非該当
海上規制情報:船舶安全法	
国連番号	3266
品名(国連輸送名)	その他の腐食性液体、アルカリ性、無機物、他に品名が明示されていないもの
国連分類	8
容器等級	Ⅱ
航空規制情報:航空法	
国連番号	3266
品名(国連輸送名)	その他の腐食性液体、アルカリ性、無機物、他に品名が明示されていないもの
国連分類	8
容器等級	Ⅱ
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	荷崩れ防止を確実に行う。容器の破損、漏れが無いことを確かめる。
応急処置指針番号	154

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質 ・ N, Nージメチルドデシルアミン＝Nーオキシド 1.4% (管理番号 224) ・ ジエチレングリコールモノブチルエーテル 3.0% (管理番号 627) ・ ナトリウム＝アルケンスルホナート(アルケンの炭素数が14から16までのもの及びその混合物に限る。)及びナトリウム＝ヒドロキシアルカンスルホナート(アルカンの炭素数が

	14から16までのもの及びその混合物に限る。）並びにこれらの混合物 1.4%（管理番号 694）
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 （営業秘密に当たるため含有量を幅表記している） ・ 水酸化ナトリウム 1～5% ・ 水酸化カリウム 1～5% ・ ジエチレングリコールモノブチルエーテル 1～5% 皮膚等障害化学物質 該当 ・ 水酸化ナトリウム ・ 水酸化カリウム
毒物及び劇物取締法	非該当
船舶安全法	腐食性物質
航空法	腐食性物質
海洋汚染防止法	Y類（水酸化ナトリウム溶液、水酸化カリウム溶液、エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム塩溶液）

16. その他の情報

参考文献

「JIS Z 7252:2019」（日本規格協会）

「JIS Z 7253:2019」（日本規格協会）

「安全データシート」（各原料メーカー）

「職場のあんぜんサイト」（厚生労働省）

「GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針」（日本化学工業協会）

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。
輸出に際しては、各国法規の確認調査が必要となります。